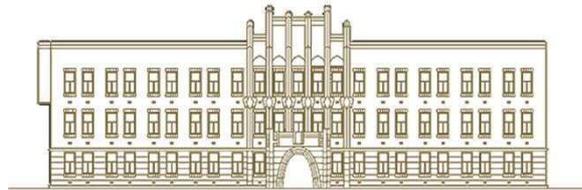


令和4（2022）年度  
事業計画書



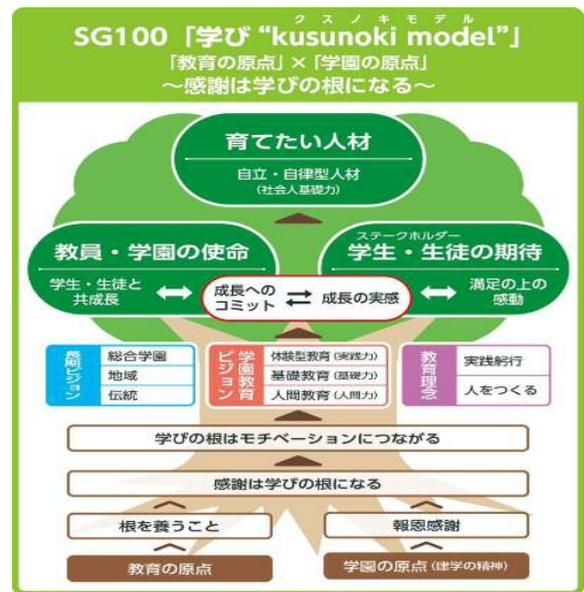
令和4(2022)年4月1日  
学校法人 四條畷学園

## 目 次

令和4年度事業計画の策定にあたって	1
長期ビジョン・中期計画の全体イメージ	2
長期ビジョン・学園宣言の基本的考え方	3
中期計画の骨子	5
《事業計画》	
法人本部	6
四條畷学園大学	9
四條畷学園短期大学	11
四條畷学園高等学校	14
四條畷学園中学校	17
四條畷学園小学校	22
四條畷学園大学附属幼稚園	28
四條畷学園保育園	30
主な新規事業計画	32

## 令和4年度事業計画書の策定にあたって

昨年度が最終年度の第二次中計では広報体制の強化、教育改革の推進、財務基盤の強化を重点課題として取り組んできました。中計期間中はコロナ禍での難しい運営になりましたが、中計のテーマであった「広報×教育改革」すなわち広報と教育現場との連携の一部成果も見られるようになりました。例えば、学園高校では新コース再編や、コロナ禍でのハイブリッド型授業など特色ある教育を発信する広報活動が奏功し、専願入学者が対前年比7割以上も増加するなど、他校からも注目されるようになりました。環境の厳しさが続く中で、この勢いを一過性のものにならないためにも、この4月からスタートする学園の百周年に向けた第三次中計で全学園レベルでの「広報×教育改革」の展開につなげていきたいと思っております。昨年初めから若手中堅教職員を中心とする「ポスト100戦略プロジェクトチーム」が各校園の教職員へのヒアリングやアンケートを実施し、その提案を三次中計に反映させました。主要テーマは少子化や新型コロナ対応など継続課題への取り組みの徹底と百周年関連の課題になります。百周年に向けた目指すべき学園像について、学園のシンボルでもある「くすの木」になぞらえ、「学び kusunoki model (クスノキモデル)」としました(右図参照)。特に「教育の原点」と「学園の原点」という二つの原点に立ち返り、「感謝は学びの根になる」というイメージを共有し、実践躬行することを重視していきます。そして、建学の精神にふさわしい学びの場を目指し、学生・生徒一人ひとりを学園のシンボルである「くすの木」のようにしっかりと根を持った人材として育てていきたいと考えています。そのためにも、学生・生徒が期待している「成長の実感」を具現化する前提となる教員のスキルや対応力のレベルアップ、モチベーション向上策などにも注力していきます。



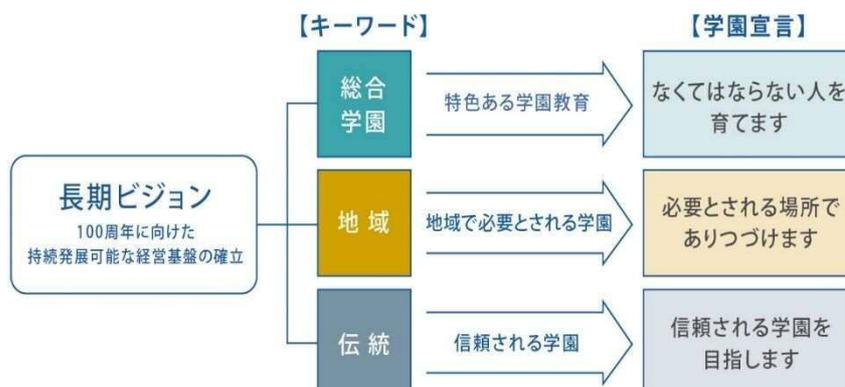
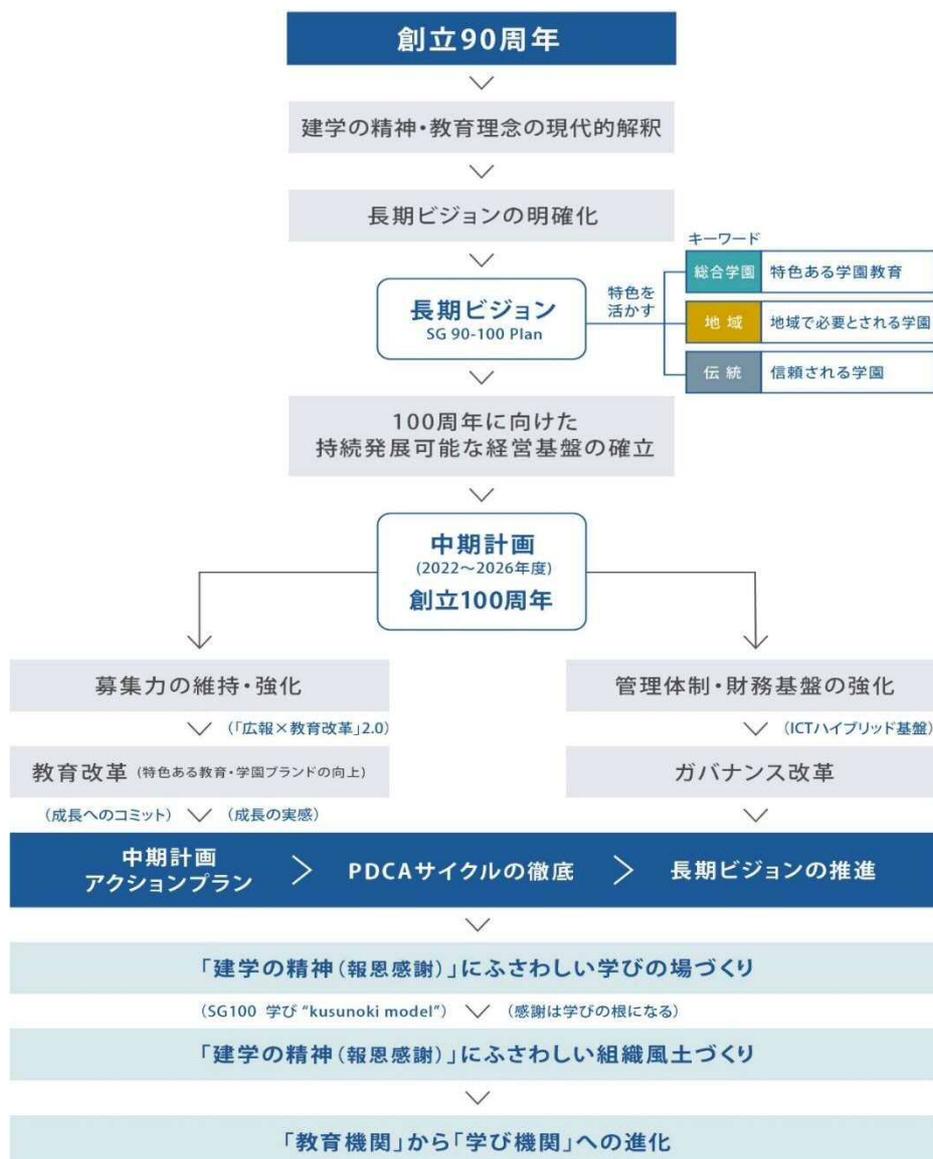
100周年記念事業関連では今年度に記念事業推進準備委員会を立ち上げ、記念事業推進体制を整備するとともに、事業内容を具体的に検討していきます。駅前整備事業関連では、昨年度に小学校南側道路拡幅のための学園側の工事が終わりました。今年度以降、小学校では校舎のリニューアルを検討していくほか、令和7年度末の学園中央道の払下げに伴う土地の活用整備についても具体的に検討を始めます。

第二次中計期間中、コロナ禍での「広報×教育改革」への取り組みは、上記のとおり、学園創立時の進取と挑戦の精神のDNAが発揮され、目の前のコロナ対応というピンチをICTハイブリット型転換へのチャンスに変えたような気がします。第三次中計の初年度にあたり、今回のコロナ禍により明確になった新たな課題を含めて、課題と危機感を共有し、改めて、「学園の原点」と「教育の原点」の二つの原点に立ち返り、建学の精神にふさわしい「感謝は学びの根(モチベーション)になる」組織風土づくりに注力していきたいと考えています。

学校法人四條畷学園

理事長 小谷 明

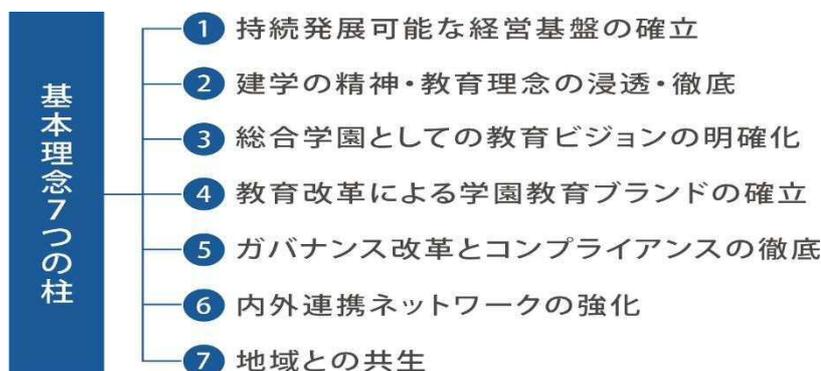
# 長期ビジョン・中期計画の全体イメージ



# 長期ビジョン・学園宣言の基本的考え方

## 1. 基本理念

今回の長期ビジョンでは 100 周年をいいかたちで迎えられるよう七つの基本理念を設定して検討を進めました。



### ① 持続発展可能な経営基盤の確立

100 周年に向けた「持続発展可能な経営基盤の確立」のために、中期計画のテーマである「募集力の維持・強化」と「管理体制・財務基盤の強化」に取り組みます。

### ② 建学の精神・教育理念の浸透・徹底

90 周年を機に、建学の精神・教育理念の現代的解釈に基づき、総合学園としての「学園教育の特色」「育てたい人材像」「学園教育ブランド」の関係性を整理し、浸透・徹底を図ります。

### ③ 総合学園としての教育ビジョンの明確化

各校園の伝統的な「体験型教育」「基礎教育」「人間教育」を学園全体として捉え直し、進化させ、新たな教育ニーズにも応える学園版「アクティブラーニング」に取り組み、総合学園としての教育ビジョンの明確化を図ります。

### ④ 教育改革による学園教育ブランドの確立

現場の教育実践が学園教育ブランドとして発信力を持つよう、学園らしい「実践躬行」を通じた教育現場主導の教育改革を推進します。

### ⑤ ガバナンス改革とコンプライアンスの徹底

全学的な改革を推進していくためには、理事長・校園長をはじめとする各部署の責任者による各組織体のガバナンスが確立されていること、また、全関係者にコンプライアンス(法令順守)意識が徹底されていることが必要不可欠です。あわせて、財務情報の公開など運営面での透明性を確保していきます。

### ⑥ 内外連携ネットワークの強化

教学・募集広報両面から内外に開かれたオープンネットワーク型の組織運営により、強みである特色づくりと損益分岐点のコントロールを並行推進します。

### ⑦ 地域との共生

地域密着型の総合学園として、募集面だけではなく、各校園の特色を活かし、地域との共生のための連携施策を積極的に進めていきます。

## 2. 長期ビジョンの基本的考え方

### **【特色ある学園教育】**

- 学園には創立以来、徳・知・体の「三育教育」の伝統があり、幼稚園から大学まで各校園ごとに特色ある「体験型教育」「基礎教育」「人間教育」が行われてきました。
- 近年、社会から求められている「実習や体験活動などを伴う主体的・対話的で深い学び」すなわちアクティブラーニングと「三育教育」「実践躬行」を重視してきた学園教育とは考え方や方法が極めて近い関係にあります。
- 90周年を機に、建学の精神・教育理念の現代的解釈を通じ、総合学園としての「教育の特色」「育てたい人材像」「学園教育ブランド」を明確にし、学園の伝統的な「三育教育」や「体験型教育」「基礎教育」「人間教育」の特色を進化させ、新しい時代にふさわしく学園らしい「アクティブラーニング」モデルに挑戦していきます。

### **【地域で必要とされる学園】**

- 「学生生徒・保護者・地域の人々から『必要とされる』場所であり続ける」ためには地域との共生が重要になります。地域で必要とされているか否かの中長期的な評価は募集状況にも反映されます。現状、近隣9市の在籍者依存度は高水準ですが、将来の募集環境の厳しさを念頭におけば、従来以上に、学園ブランドの向上とともに様々な連携施策を通じて地域での存在感を高める必要があります。
- リハビリテーション学部に加えて看護学部を加えた保健医療系大学になった今、地域との共生のための知(地)の拠点整備への取り組み等、従来以上に、地域が抱える課題解決のための連携・協働への期待が高まっています。

### **【信頼される学園】**

- 90年の教育と経営の伝統が地域や社会から学園に対する信頼の基盤になっています。100周年に向け、引き続き、信頼を重ね伝統を守っていくために、管理面や財務面での運営体制の強化を中心としたガバナンス改革を進めていきます。
- 近年の教育行政によるガバナンス強化の要請の背景には、厳しい環境のもとでは、学校経営も一般企業と変わることなく経営体のガバナンスがしっかりとしていないと存続危機の事態を招きかねないという共通認識があります。
- SNSの時代には、管理体制の問題はもちろん、学園関係者の不用意な言動が風評リスクを通じて信頼喪失そして募集力低下に直結することになります。一人ひとりのリスクに対する意識が従来以上に問われる時代になっているという自覚が必要です。
- 私学事業団方式の評価によれば、財務面では収益性や経費構造上の課題が明確であり、コスト意識とともに予算管理を中心としたPDCA管理の徹底が求められています。

## 中期計画の骨子

### 1. 基本的考え方

中期計画の骨子は以下のとおりですが、期間は 2022 年度～2026 年度の 5 年間になります。



### 2. 中期計画アクションプランの共通テーマ

長期ビジョンの基本理念である 100 周年に向けた「持続発展可能な経営基盤の確立」のためには「募集力の維持・強化」と「管理体制・財務基盤の強化」という攻めと守りを同時に高いレベルで実現することが求められます。これらの課題は校園間、教学・事務間の協働・連携等全学横断的な対応が求められることから中期計画アクションプランの共通テーマとしました。

#### 共通テーマ

- ① 募集力の維持・強化
- ② 管理体制・財務基盤の強化

### 3. 具体的な展開方法

中期計画アクションプランに基づき、全学、校園、本部・各事務室それぞれあるいは協働・連携して展開していきます。教育改革については「特色ある教育・学園ブランドの向上」に向けた教育実践の成果を今後の「持続発展」に必要な「募集力の維持・強化」につなげるため、特に「広報×教育改革」のシナジー効果の視点を重視していきます。ガバナンス改革についてはアクションプランの課題を中心に見直しを行い、引き続き体制整備を図っていきます。

#### 展開方法

- ① 教育改革(全学・校園別)
- ② ガバナンス改革

## 法人本部

No	施策種類	事業計画
1	重点取組事項	<p>(1)SG90－100Plan(長期ビジョン・中計)の推進</p> <p>①第三次中計初年度におけるアクションプランを学園内に周知し、進捗状況を管理します。(全学園でのPDCA 継続)</p> <p>②第三次中期計数計画を策定します。</p> <p>(2)都市計画・校地変更への対応</p> <p>①大東市道の拡張工事開始にともない、児童・園児・教職員の安全管理を徹底します。</p> <p>②送迎車両の進入路確保に向けて、用地取得と設計等を進めます。</p> <p>(3)建物・設備の更新</p> <p>①総合ホール・食堂のリニューアル計画策定に着手します。</p> <p>②小学校校舎のリニューアル計画策定に着手します。</p> <p>(4)小中高における変形労働時間制導入に向けた制度設計と準備</p> <p>(5)創立100周年に向けて</p> <p>①創立 100 周年に向けて記念事業等の準備委員会を発足します。</p>
2	教育改革サポート	<p>(1)教育・管理システムの高度化</p> <p>①ICT企画推進サポート室によるICT環境の高度化とサポート力強化を図ります。</p> <p>②大学・短期大学の教務システム(ユニバ)を新システムに更新します。</p> <p>③幼稚園におけるヨコミネ式教育の徹底を支援します。</p>
3	財務	<p>(1)学生生徒等納付金の増収</p> <p>①募集・広報関連の人材確保に向けて、担当職員を強化します。</p> <p>②学内進学促進のため、入試・入学金優遇(免除)制度、授業料減免制度の拡大を検討します。</p> <p>③同窓生子女の入学金減免制度、奨学金制度を検討します。</p> <p>(2)外部資金導入等による収入の恒常化</p> <p>①「経常費特別補助」獲得基準など、指標や数値目標を持って大学運営改革をサポートします。</p> <p>②寄付金の増収に向け、返礼品付寄附金制度のPR 活動を多様化します。</p> <p>(3)人件費比率の適正化</p> <p>①令和 4 年度の期末手当支給水準を確定します。</p> <p>②小中高における変形労働時間制導入に向けた制度設計と準備を進めます。</p> <p>(5.人事制度全般の見直しとリンク)</p> <p>(4)経営の合理化進展、効率的な財政運営、健全な財務体質の維持</p> <p>①予算管理、支払管理を徹底します。</p> <p>②特殊要因を分別しつつ、校園別予算・収支管理を継続します。</p> <p>③教職員に向けた財務情報の開示を強化します。(7.広報とリンク)</p> <p>④嘱託・非常勤・派遣教職員の採用と活用を進めます</p> <p>⑤総務関連事務や資産管理のデジタル化、見える化を進めます。(6.組織・権限とリンク)</p>

No	施策種類	事業計画
4	教職員の育成	<p>(1)「教職協働」の定着</p> <p>①学園広報活動やリスク案件対応を通じ、職員と教員の連携を更に強化します。</p> <p>(2) 教員の組織的FD活動</p> <p>①外部コンサルタントによる定期セミナーを継続し、教職員のレベルアップを図ります。</p> <p>②自己研鑽手当等を利用した外部研修受講支援を継続します。</p> <p>(3) 事務職員によるSD活動</p> <p>①事務連絡会におけるテーマ別SD研修を継続します。</p>
5	人事制度全般の見直し・整備	<p>(1) 教職員の定員管理</p> <p>①有期雇用教職員の業務範囲や手当を見直し、活用できるポストを拡大します。</p> <p>②幼・保教員確保の安定化に向け、嘱託教員の処遇を見直し、募集チャンネルを拡大します。</p> <p>(2) 管理職の育成</p> <p>①各校園で次世代を担う管理職やIT、IR関連人材の募集・育成に注力します。</p> <p>(3) 給与体系の全般的な見直し</p> <p>①小中高における変形労働時間制導入に向けた制度設計と準備を進めます。</p> <p>(3.財務とリンク)</p> <p>②評価結果による期末手当の配分方法について再検討します。</p> <p>③役職手当を含む諸手当制度の見直しを検討します。(6.組織・権限とリンク)</p>
6	組織・権限	<p>(1) コンプライアンス・ガバナンスの強化</p> <p>①監事―内部監査―監査法人に加え、顧問弁護士や社会保険労務士、産業医との連携を強化し、法務対応や労務管理案件への対応を迅速に行います。</p> <p>②役職手当を含む諸手当の見直しを検討します。(5.人事制度全般の見直し・整備とリンク)</p> <p>(2) 内部統制、リスク管理機能の強化</p> <p>①勤務時間等労務管理強化に向け、人事担当者を増員、育成します。</p> <p>②総務関連事務や資産管理のデジタル化、見える化を進めます。(3.財務とリンク)</p> <p>③内部監査担当と監事が連携のうえ、投資案件、リスク対応事案の監査を強化します。</p> <p>(3) 意思決定の迅速化</p> <p>①大学・短期大学における一部事務の一本化、学生支援センターの稼働開始をサポートします。</p> <p>②申請書や議事録等の電子化を進め、意思決定と情報共有の迅速化を図ります。</p>
7	広報	<p>(1) 戦略的広報体制の確立・展開</p> <p>①全学広報委員会の運営をサポートし、全学広報担当と大学・短期大学広報課、各校園広報担当者間の情報交換、連携を継続します。</p> <p>(2) 情報公開</p> <p>①私学法や補助金助成基準を上回る水準でHP開示項目の拡大を図ります。</p> <p>②図表・グラフ等による開示内容の充実を図ります。</p> <p>③財務情報の教職員向け開示を強化します。(3.財務とリンク)</p>

No	施策種類	事業計画
8	施設整備・その他	(1) 外部評価機関の活用 ①大学・短期大学の自己点検評価における財務・ガバナンス部門を担当します。
		(2) 施設の適切な管理 ①高等学校飯盛嶺校舎等のトイレをリニューアルします。
		(3) 危機管理と防災対策 ①市道拡張工事の開始にともない、児童・園児・教職員の安全管理を徹底します。 (1.重点施策とリンク)
		(4) 都市計画への対応 ①送迎車両の進入路の確保に向けて、用地取得・設計等準備を進めます。 (1.重点施策とリンク)
		(5) キャンパスの総合整備 ①小学校校舎リニューアルの検討に着手します。 ②総合ホール食堂のリニューアルの検討に着手します。 (1.重点施策とリンク)
		(6) 新型コロナウイルス感染症対策 ①新型コロナウイルス感染症収束に向けて学園内の衛生管理を統括します。
		(7) 社会貢献・文化活動の推進 ①各校園の大東市・四條畷市との連携活動について、設備や人員、資金面をアシストします。
		(8) 同窓会等との連携強化 ①保護者会、同窓会、後援会等の活動再開をアシストします。

No	施策種類	事業計画
1	重点取組事項	(1)教育の質の向上 大学における3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)の定着を図り、アセスメント・ポリシーに従い、教育の質の向上に努めるとともに、より早い段階から国家試験対策・就職活動をサポート
		(2)募集活動の強化 ①入学定員の確保…リハ:PTとOTの合計で80名を確保 看護:80名以上を確保するとともに偏差値をアップ ②指定校推薦による入学者の増加を推進
		(3)学生支援 ①初年次からの意識付け等により、国家試験対策を充実 ②アセスメントテスト結果等を踏まえ、能力別にメリハリのある個人指導を徹底 ③初年次教育と連動した基礎学力向上と主体的学修習慣の定着を支援
2	教育内容・水準の充実	(1)学生満足度の高い教育の提供 ①入学前教育および初年次教育の充実 ②アセスメント・ポリシーの定着に向けたPDCA機能の強化 ③FD・SD活動の充実 教職員を対象とする年間計画に基づく効果的な研修(含む学外)の実施及び、授業評価アンケート、教員相互の授業参観、IT導入等による教育のスキルアップ ④学生個性に応じた教育提供 ・英語やITリテラシー部門への能力別クラス導入を検討 ・成績優秀者を対象にチャレンジャブルな教育機会を提供 ・優秀な学生をスチューデント・アシスタントやメンターとして育成 ・成績下位者への手厚い個人指導
		(2)自己アセスメント体制の確立 ①「内部質保証の方針」に沿ったPDCAサイクルを確立 ②本学ガバナンスコードの制定とそれに則ったガバナンス体制の確立
		(3)遠隔授業等のICTを活用した効果的な教育手法の導入 コロナ禍の中において、面接授業と遠隔授業を効果的に活用する等、ハイブリッド型などによる適切な授業運用を通して、学生の学修機会の確保と感染防止対策の徹底を図り、教育の質を向上

No	施策種類	事業計画
3	教育・研究基盤の整備及び環境の充実	<p>(1) 教育・研究環境の充実</p> <p>① 科研費獲得への積極的取組</p> <p>② 健康科学研究所・研究支援資金の活用</p> <p>③ 高度な専門性を有する人材育成に資する大学院構想を看護学部主導で検討</p> <p>④ 東南アジア等の海外大学との交流推進</p> <p>(2) 実習施設の充実</p> <p>① 臨床ニーズの変化に対応できる新規実習施設の開拓や実習指導員の養成</p> <p>② コアの実習施設や実習指導員との連携強化</p> <p>③ 看護学部はシミュレーション機器等の導入を拡大し、多元的な実習の充実</p> <p>(3) 卒業生ネットワークの充実</p> <p>① 卒業生の情報データベース構築</p> <p>② 卒業生交流イベントの積極的開催</p> <p>③ 卒業生意見を教育の質向上のために活用</p> <p>(4) 利便性向上や検索可能リソース拡大による図書館利用率のアップ</p>
4	社会貢献・文化活動の推進	<p>(1) 積極的な地域貢献</p> <p>① 公開講座の実施等による地域住民への貢献</p> <p>② 行政との連携(地域包括ケアシステムや四条駅駅前再開発プロジェクト)</p> <p>③ 地域企業や(地域性や専門性等で関連のある)他大学との連携</p> <p>④ 教育に関する最新情報の提供や職場での悩みに対する助言を行う等による地域貢献</p>
5	学生募集	<p>(1) 重点エリアならびに指定高校へのきめ細やかなアプローチのもと、出前授業等の対応強化を図り、効果的な募集活動を行うことで、オープンキャンパスへの参加者増強。</p> <p>① HPの抜本的改善を含む効果的なメディアミックス戦略の実践</p> <p>② OC等への参加を増やし、志願者獲得につながる広報活動の展開</p> <p>③ 高大連携強化による高校とのリレーションアップ</p>
6	進路対策・就職対策	<p>① キャリアセンターとの連携を図り、円滑な就職活動支援</p> <p>② 大学院進学や保健師・助産師等への進学相談の充実</p>
7	災害対策への取組	「危機管理マニュアル」に基づき、防災訓練を実施する等、的確な災害対策、対応ができる体制の確立
8	その他	<p>(1) 事務品質の向上</p> <p>コンプライアンス遵守を土台とし、多能化や業務の効率化を進め、リスク管理を強化</p> <p>① 円滑な学生対応に向け、事務品質を維持・向上</p> <p>② 外部研修会への積極的な参加により知識を向上、事務プロセスを改善</p> <p>③ 業務ミス、トラブル、ヒヤリハットを迅速に報告、問題点・対応策を共有し、リスク意識を強化</p> <p>(2) 学生支援センターの活性化により教育サービスを向上</p> <p>① 大学・短期大学の共通プラットホーム化を推進</p> <p>② 各事務室業務とのセグメント化を図り、事務効率化を推進</p>

No	施策種類	事業計画
1	重点取組事項	<p>(1)募集活動の強化</p> <p>重点エリア・指定校への効果的な活動により、募集定員180名(保育100名、ライフ80名)の入学者を安定的に確保します。</p> <p>(2)教育の質の向上</p> <p>短期大学における3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)の定着を図り、アセスメント・ポリシーに従い、教育の質の向上に努めるとともに、より早い段階から就職活動のサポートに努めます。</p> <p>(3)学生支援</p> <p>コロナ禍における学生の学びの状況等把握に努め、親身な生活・学習面のサポート、保護者との密な連携等により、休学・退学の可能性がある学生に対し丁寧な対応に努めます。</p>
2	教育内容・水準の充実	<p>(1)共通</p> <p>コロナ禍の中において、面接授業と遠隔授業を効果的に活用する等、ハイブリッド型による適切な授業運用を通して、学生の学修機会の確保と感染防止対策の徹底を図り、質の向上を目指します。</p> <p>①「課題発見・対応能力」を高めるため、アクティブラーニング等の教育ツールを積極的に活用しコミュニケーション能力の向上に努めます。また、必要な教養・知識を備え、主体的行動ができる人材を育成します。</p> <p>②学生の満足度が高く、質の高い教育を提供します。</p> <p>ア. 新入生全員に「入学に至る意識調査」を実施し、学習意欲や短期大学への期待を把握し、入学直後の指導を充実します。</p> <p>イ. 到達目標達成評価表(ルーブリック評価法)により、運用や評価方法等、評価者の理解力を高め、カリキュラムの改善について検討します。</p> <p>ウ. 「授業評価アンケート」の実施、結果を踏まえ、「授業の質の向上」を図ります。</p> <p>(2)保育学科</p> <p>①ピアノ等のマンツーマン指導による「音楽教育」、幼児を魅了する感性を磨く「美術教育」等の魅力ある教育を目指し、競合他校との差別化を図ります。</p> <p>②「指定園」の見直し、取組み強化を検討します。実習先との意見・情報交換の機会を増やし、事前・事後学習の内容を改善に努め、実習内容の一層の充実を図ります。</p> <p>(3)ライフデザイン総合学科</p> <p>現実社会に対応し生き抜く力を育成します。社会や学生のニーズを的確にとらえ、授業内容を工夫し、各学生が「自分の適性」に気づく教育を行います。また、各スキルと就職先・キャリアパスの関連を具体的に例示し、主体的にライフデザイン(人生設計)を描く能力を高めます。</p>
3	教育・研究基盤および環境の充実	<p>(1)教育提携の在り方について、社会情勢や学生ニーズを踏まえ、学びやすい環境について検討します。</p>

No	施策種類	事業計画
		<p>(2)教育に関する最新情報の提供や職場での悩みに対する助言を通して、地域と協働の研究基盤の整備、検討に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大東市・四條畷市・門真市の各種委員会への派遣により、情報交換に努めます。</li> <li>・大東市、四條畷市との連携事業を通し実践・研究の質を高めます。</li> </ul> <p>(3)「なわてドリル(e-ラーニング)」の内容見直しにより、基礎学力の向上に努める。基礎学力とSPI能力の連動性や対象科目の変更等を検討し、充実に努めます。</p> <p>(4)ICTの活用の1つとして「eBook」による図書館機能の充実、活用、利用を推進します。</p> <p>(5)科研費取得目標を300万円とします。</p>
4	社会貢献・文化活動の推進	<p>(1)地域住民および企業のニーズ等実態把握に努め、求められる「リカレント教育」について検討し、地域に貢献します。</p> <p>社会人リフレッシュ教育講座の新規講座の開講に向けて地域ニーズの把握に努め、参加者の増強を目指します。</p> <p>(2)地域・大学と連携し、教育活動や各種ボランティア活動を通して地域との接点を強化します。</p>
5	学生募集	<p>(1)重点エリアならびに高大連携高校をはじめとした重点指定高校へのきめ細やかなアプローチのもと、出前授業等の対応強化を図り、効果的な募集活動を行うことで、オープンキャンパスへの参加者増強に努めます。</p> <p>(2)学校案内、短期大学ホームページの広報媒体を通じて短大の魅力を伝えるべく、発信力(わかりやすさ・見やすさ等)の強化、改善に努めます。</p> <p>(3)学校見学会・模擬授業や短大生の実体験紹介を増やす等、学生の顔が見えるオープンキャンパスに変革します。</p>
6	内部進学	<p>(1)学園高校向け説明会等で、学びと将来の就職先が具体的にイメージできるよう模擬授業の内容や説明、開催時期を工夫し、本学に対する理解を深めます。</p> <p>(2)高校・短大を通じて継続的に挨拶やマナー等の基本を教育する仕組み(情報交換、定期的な協議会)をとおり、「社会適応力」を高めます。</p>
7	進路対策・就職対策	<p>(1)各種業界等が主催する「就職フェア」等への積極的参加を促し、サポートに努めます。また、就職先の求人状況等実態把握に努め、新たな就職先の開拓に努めます。</p> <p>(2)大学進学(編入)希望者の個別相談に応じ、適確な支援を行い、就職以外の選択肢をアピールします。</p> <p>(3)卒業生のネットワークを活用した懇談会等による卒業生と学生相互間の交流の機会を増やし、学生の就職意欲の高まりや就職先の開拓に繋がります。また、学生の就職活動に係る保護者説明会を開催します。</p> <p>(4)「公務員対策講座」の実施方法・内容を工夫し、参加者・出席率を向上させ、公務員志望・適性のある学生を支援します。</p>
8	災害対策への取組	<p>「危機管理マニュアル」に基づき、防災訓練を実施する等の確かな災害対策、対応ができる体制の確立を目指します。</p>

No	施策種類	事業計画
9	その他	<p>(1)事務品質の向上</p> <p>コンプライアンス遵守を土台とし、多能化や業務の効率化を進めるとともに、リスク管理を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円滑な学生対応に向け、事務品質の維持・向上に努めます。</li> <li>・外部研修会への積極的な参加により知識の向上、事務プロセスの改善に繋がります。</li> <li>・業務ミスやトラブル、ヒヤリハットを迅速に報告、問題点や対応策を教職員が共有し、リスクに係る意識の強化、定着に努めます。</li> </ul>
		<p>(2)学生支援センターの活性化により、教育サービスの向上を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学・短期大学の共通プラットフォーム化の推進を図る。</li> <li>・各事務室業務とのセグメント化を図り、事務効率化を目指します。</li> </ul>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
1 建学の精神と教育理念に基づく学校経営計画及び教育計画の策定・実践	(1)理念・方針にもとづく教育計画の再構築	年度の初めに、各学年・各校務分掌で、教育理念・教育方針を踏まえた指導目標・教育活動計画を策定し、その目標の実現に努めます。	目標や計画の重要性から教員の自己評価平均 4.0 以上(前年 3.6)を目指します。
	(2)教職員の資質向上と学校運営体制を改善・整備	①学園の特徴を前面に打ち出し、新学習指導要領に沿った取り組みを実践していきます。 ②教員の「授業力」向上のため、教務部と委員会が中心に、研修・会議・公開授業を活用し、教育課題や指導方法について話し合い有効な実践につなげます。 ③より良い教育実践のために、教員間のコミュニケーションや連携を図ります。 ④総合的な探究の授業では、地域や企業連携としたPBL(問題解決学習)の取り組みを中心として社会人基礎力を育みます。	①～④の自己評価は、全て 4.0 以上(前年 ① 3.8, ② 3.6, ③ 3.3)を目指します。
2 高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤の養成	(1)主体的・対話的で深い学び(AL授業)の実践	①基本的な知識・技能の習得のために分かりやすい授業改善に取り組み、内部での授業公開を定例化します。 ②思考力・判断力・表現力の養成のための授業改善を行います。 ③課題発見能力と課題解決能力を養うための授業を実践します。	①～③の自己評価は、全て 4.0 以上(前年 ① 3.9, ② 3.8, ③ 3.5)を目指します。
	(2)集団・社会に貢献できる態度・実行力	①基本的な生活習慣・態度・マナーを身につけるための指導をしっかり行います。 ②クラス活動や行事活動を通して、協働や責任感などの社会性を身につける指導を行います。	①・②の自己評価は、全て 4.0 以上(前年 ① 3.8, ② 3.6)を目指します。
	(3)部活動を通して心身の鍛錬	①短い活動時間で集中し、技術や精神力など自らの心身を主体的に鍛える指導を実践します。 ②協調性や行動力など社会性を身につけるようチームワークを重視した指導を行います。	①・②の自己評価は、総合的に 4.0 以上(前年 ①・② 3.8)を目指します。
	(4)市民性を育む教育	①18 歳からの選挙権を見すえて、市民性・主権者意識を育む教育を実践します。 ②よりよい地域を目指したボランティア活動等の集団的、体験的な活動並びに地域活動への参加を推奨し、実践的学習を推進します。	①・②の自己評価は、全て 4.0 以上(前年 ① 3.1, ② 2.9)を目指します。
	(5)国際的資質を育む教育	海外からの研修生・留学生を受入れ、また、本校から研修生・留学生を派遣し、これからの社会で必要な国際感覚を育てます。	自己評価は、4.0 以上(前年 2.9)を目指します。
3 人としての在り方・生き方を考	(1)自己・他者が共により良く生きようとする態度	①学年別にテーマを決め、多様な人権問題への適切な理解と態度を身につける学習を実施します。	①～③の自己評価は、全て 4.0 以上(前

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
え、他者と共により良く生きていくための人権意識の育成		②学級生活や活動を通して、多様な価値観を認め合い、仲間と共に調和して生活しようとする態度を養います。 ③いじめアンケートを学期ごとに実施し、普段から生徒の日々の様子をしっかりと観察することで、個人に応じたきめ細やかな指導を行います。	年①・②3.7,③3.8)を目指します。
	(2)一人ひとりのニーズに応じた指導	①様々な課題を抱える生徒一人ひとりをしっかり理解し、丁寧に対応し支援を行います。 ②生徒のニーズを把握し教職員が連携し、チームとして特別支援教育を実施します。	①・②の自己評価は、全て4.0以上(前年①3.8,②3.6)を目指します。
4 進路目標の実現に向けて、未来を切り拓くキャリア教育・進路指導	(1)未来の目標を実現する能力	①生徒が自分の興味・関心を知り進路目標を考える進路指導を行います。 ②職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施し、キャリア教育を推進します。	①・②の自己評価は、全て4.0以上(①3.8,②3.9)を目指します。
	(2)生徒の目標を実現させる進路相談・支援	①進学や就職にかかわる進路情報を提供し、丁寧に個性に応じた相談や助言を行います。 ②生徒のニーズに対応した放課後・休業中の講習を実施します。	①・②の自己評価は、全て4.0以上(①3.9,②3.5)を目指します。
5 安心・安全な社会を築くための態度と行動力の養成	防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施	①マニュアルに沿った避難訓練、大阪 880 万人訓練等地震・津波・火災等、防災・減災に向けた防災訓練を実施します。 ②自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める学習を実施します。	①・②の自己評価は、全て4.0以上(①3.9,②3.5)を目指します。
6 内部進学強化	(1)中高連携の強化 ①中高連絡会議の充実 ②内部進学増加のための具体的方策の実施 ③高校の魅力ある教育の新たな実施の検討	①中高連絡会議の内容の充実と、高校での教育内容の情報をしっかりと中学生・保護者に提供します。 ②学園中学の進路懇談会時、中学校舎内で進学相談ブース(高校教員が対応)を設置し、親切・丁寧な対応をします。 ③新コースの教育内容を学園中学生に公開および説明することで、興味関心を深めます。	学園中学校からの一貫コースを除いた内部進学者数 30 名以上(前年専願 20 名)を目指します。
	(2)高短連携の強化 ①高短連絡会議の充実 ②説明会・体験授業等の新たな方策の実施 ③進学増加の高校進路指導における新たな方策の実施	①高短合同会議、高短連絡会を通して、高短の連携を密にします。 ②学園短大模擬授業に代わる試みで、就職と編入学の状況説明会を実施します。また、内部進学した先輩方の社会人としての活躍をしっかりと高校生に紹介し、内部進学の利点をアピールします。 ③学園短大生の資格取得・就職状況をしっかりと広報し、就職に結びつけた内部進学指導を行います。	短大への内部選抜 A 日程の受験者数 70 名以上(前年入学 72 名)を目指します。

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
	(3) 高大連携の強化 ① 高大連絡会議の充実 ② リハビリ・看護進学増加の説明会・体験授業等の新たな方策の実施 ③ リハビリ・看護進学増加の高校進路指導における新たな方策の実施	① 高大連絡会議をさらに充実します。 ② 志願者増加に向けた魅力ある説明会・体験授業等を実施します。 ③ リハビリテーション学部・看護学部の内部進学事前相談会は、内部進学者増加の一要因となっているので、継続して実施していただきます。また、大学体験授業を実施し、内部進学への理解を深めます。	大学への内部選抜の受験者数 15 名以上(前年入学 10 名)を目指します。
7 生徒募集対策の強化	(1) 募集・広報体制の整備	① 人員・組織の整備継続・・・募集広報部メンバーと専従者2名が連携し、広報活動をより強化します。 ② 活動計画の立案と実施・・・公立中学校への出前授業や高校選別の講演会への参加を積極的に打ち出します。また、高校訪問やクラブの合同練習を希望する中学生を募集します。中学校や塾訪問のマニュアルを作成し、他の教員と情報共有するための研修を実施します。 ③ 活動予算の立案と効果的な実施・・・オープンスクールの周知方法や協力してくれる生徒たちのモチベーションがアップするような企画を検討していきます。	
	(2) 募集・広報戦略の改善	① 募集の方法・手段・時期の効果的な設定・・・web 広告を有効的に活用し、より効果的な広報活動をします。 ② 活動対象に応じた戦略の立案と実施・・・学園動画の閲覧をより充実させ、クラブ活動や学校行事等の生徒目線での動画を Instagram などにアップし、広報します。 ③ 活動内容・プログラム・PR ポイント・提供情報の工夫・・・HPを一新したことで、より広報活動の充実を図ります。または、クラブ活動などの動画作成を許可し、日々の活動や戦績などを積極的に発信します。	
	(3) 教育の特色の明確化	① 各コースの特色強化と実績の向上・・・総合キャリアコースでは「キャリアデザイン」を選択、発展キャリアコースは「プロジェクト型学習」を通していろんなことに挑戦、特別シガクコースは「自分で学んでいける力の育成」することで、それぞれの生徒に合った進路選択ができるように努めます。 ② 教育活動の充実と生徒の成長成果・・・生徒にわかりやすい授業の提供と、学期に 1 回の生徒による授業評価アンケートを実施します。 ③ 教育理念に即した人を育てる教育の実践として、「実行から学べ」をテーマに、全校生徒や学年、コース全員が参加して楽しめる企画を検討します。 ④ 特技推薦(クラブ推薦)による新入生が増加する対策を引き続き行います。	特技推薦によるクラブ員 60 名以上(前年 69 名)を目指します。

# 中学校

## 【学校全体】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
1. 建学の精神に基づく教育の実践と私学としての独自性	(1) 私学の独自性	<p>①職員研修などを通じて、建学の精神・教育理念などを理解・実践します。</p> <p>②入学式・卒業式・全体集会などを通じて、建学の精神・教育理念について生徒に話し、理解を深めます。</p> <p>③教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図ります。</p>	<p>①私学であるため教員による建学の精神及び教育理念の理解及び実践目標を 4.2 とする。</p> <p>②諸式を通じて校長講話の中で建学の精神や教育理念等をわかりやすく説明する。 (令和3年度生徒 4.2)</p> <p>③生徒指導部の月間目標に教育方針の内容を取り入れ、生徒に啓発を行います。 (令和3年度生徒 4.2)</p> <p>②③の目標は 4.2 とする。</p>
	(2) 生徒のニーズに対応した教育活動	<p>授業評価を検証し、改善点を見出し、生徒にとってよりよい指導を行います。</p> <p><b>【1、2年生】</b></p> <p>①発展探究クラスは、「総合的な探究学習(G-pro)」を取り入れ、探究活動を通じて協働し自ら発信する力を養い、将来の進路を自ら実現させます。</p> <p>②発展文理クラスは、学年での探究活動に加え、日々の確認テストやハイレベルな目標設定を通じて、主体的に応用的な内容まで学ばせ、よりハイレベルな進路実現のニーズに対応します。</p> <p><b>【3年生】</b></p> <p>①英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図ります。</p> <p>②英数発展コースは、夏期講習などで応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応えます。</p> <p>③6年一貫コースは、総合的な学習の一貫である「自分プロジェクト」で自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成します。</p>	<p>1、2年生は発展探究・発展文理の2つのクラス編成により、新しい教育活動を行います。</p> <p>また、3年生は、それぞれのコースの特徴を理解し、コースの取組に満足しているかの設問を行います。</p> <p>新カリキュラムは令和3年度開講であり、それぞれのクラスの理解に努めます。 (令和3年度 生徒 4.2 保護者 4.1)</p> <p>全コースの平均 令和3年度 4.1 と、それぞれのコース理解が浸透できました。</p> <p>コース制最終年を有意義な教育活動で締めくくります。</p> <p>それぞれの目標値を 4.2 以上とします。</p>
	(3) 進路指導	<p>①生徒が、自分自ら夢に向かう進路実現ができるよう また、より良い進路選択ができるよう、進路情報を提供するため、3年時2回の進路ガイダンスを行います。</p>	<p>①生徒の将来を見据え、探究活動を通じて自己発見や進路情報の提供や進路ガイダンス(令和3年度 4.2)を行います。</p> <p>目標は 4.2 以上とします。</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
		<p>②自分の進路について主体的に考え、そのための進路を選択できる力を育みます。(1、2年)</p> <p>③個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、3年の1学期より希望調査をとり、進路相談や進路支援を行います。</p>	<p>②探究活動を通じて、自ら考え、進路選択できる力を養成します。</p> <p>③個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行なっています。(令和3年度は4.2)4.2以上を目標とします。</p>

#### 【学習指導・人権教育】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
1. 学習面において、きめ細かい指導を行い確かな学力を育成する	(1) 教科指導	<p>①各教科はシラバスに沿って指導するが、グループ学習を取り入れ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組みます。</p> <p>②ICT 機器(タブレット)を積極的に利用し、分かりやすい授業を目指し、創意工夫を行います。</p> <p>③学力の向上と定着をめざすため、早朝学習・放課後学習(自習室活動)・休暇中の講習を実施します。</p>	<p>①教員によるシラバスに沿った指導、グループ学習や AL を取り入れ、より一層の充実を図ります。目標を 4.2 以上にします。(令和3年度 4.3)</p> <p>②教員による授業への創意工夫を行い、ICT機器の有効活用を通じ、分かりやすい授業の展開の目標値を 4.2 以上にします。(令和3年度 4.1) 生徒・保護者による「授業は分かりやすいか」には (令和3年度 生徒 4.1 保護者 3.9)との開きがあり、両者の目標値を 4.2 以上に設定します。</p> <p>③教員による生徒の学力向上・学習の遅れている生徒への支援を個々の生徒の実態に合わせて行なっています。(令和3年度 3.8)と 0.2 ポイント評価が下降しました。 教員による生徒の学力向上への取り組みは、(令和3年度 生徒 4.3 保護者 4.1)と向上しており、引き続き 4.2 以上を目標とします。 生徒・保護者による生徒の学力向上への意欲は 4.2 を目標とします。</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
		④自らの課題に向けて考え、協働し、学習意欲を高めるために探究活動を実施します。(1、2年)	④探究活動を通じて、生徒が「主体的・対話的で深い学び」を実現し、様々なことに興味・関心が持て、意欲が得られるようになることを目標とします。
2. 人権を尊重する学校づくり	(1) 人権教育	<p>①「心のバリアフリー」の観点から、障がい者理解を深めつつ、人権感覚を持ち、相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行います。</p> <p>②いじめ等の予防、早期発見のため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施し、人権意識を育てます。</p> <p>③障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行います。</p> <p>④12月の人権週間には中学校行事として、人権講演会を実施します。</p>	<p>①教員は周囲の人を尊重し、よりよい人間関係を築いていく態度を養う教育を実践していますが(令和3年度 3.8)であり、4.0以上を目標とします。</p> <p>②生徒・保護者による教員の「いじめ」の対応は適切か(令和3年度 生徒 4.2 保護者 3.9)とまだ保護者の評価は低い。 目標は4.0以上とします。</p> <p>③教員は人権に係わる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践します。(令和3年度 4.2) 4.2以上を目標とします。</p> <p>④人権講演会や道徳的な行事については(令和3年度 生徒 4.5 保護者 4.1) 生徒の満足度も上昇し現在の人権教育を継続し、目標を4.2以上とします。</p>

## 【学校生活】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
1. 基本的な生活習慣の確立を行うとともに、安全で安心な学校づくりと生徒への支援を行う。また、学校行事を通じて豊かな人格形成を行う。	(1) 生活指導	<p>①個別の問題行動の対応にとどまることなく、基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活における社会性を身につかせます。 また、生徒にとって過ごしやすい生活環境であるために規則の改訂にも積極的に取り組みます。</p> <p>②重点を置いた指導として、生徒指導部が中心となり、乗車マナーの啓発や挨拶運動を実施します。</p>	<p>①教員による、規則を守らせる指導・挨拶・礼儀を重んじるは(令和3年度 4.2)と昨年と同じでした。目標は4.3以上とします。 生徒・保護者による教員の規則を守らせる指導(令和3年度 生徒 4.4 保護者 4.1)と高評価です。引き続き4.2以上を目標とします。</p> <p>②(令和3年度 生徒 4.0 保護者 3.9)です。 生徒会を中心に積極的に挨拶運動</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
			を行い、学校月間目標により、さらに啓発を行います。
	(2)危機管理と情報公開	<p>①教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざします。また、災害に備えて備蓄品を整えます。</p> <p>②情報モラル講演会などにより、スマートフォン・タブレットなどの情報機器の正しい使用法を習得させます。特に SNS、写真撮影等個人情報の公開の危険性、人権面での指導に力点を置きます。</p> <p>③学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行います。</p>	<p>①安心・安全な学校を目指すには、危機管理マニュアルの整備（令和3年度 4.2）及び、緊急時の警察、消防との連携・訓練等の学校安全対策は（令和3年度 4.2）はどちらも良い評価ですが、4.3 以上の目標とします。</p> <p>②情報機器の正しい使い方では（令和3年度 生徒 4.3 保護者 3.7）と保護者が生徒に対する信頼がまだ低いようです。4.0 以上を目標とします。</p> <p>③情報公開については、保護者の満足度がかかなり向上しました。（令和3年度 生徒 4.5 保護者 4.3）引き続き 4.3 以上を目指します。</p>
	(3)学校行事や部活動	<p>①社会性や協調性の育成のため、部活動を奨励します。</p> <p>②情操面を豊かに育てるため、宿泊研修、校外学習、耐寒オリエンテリングなど多彩な行事を充実させます。文化祭、体育会では生徒会を中心に、自主的に活動する姿勢を育てる機会にします。</p> <p>③全クラスでさまざまな行事と探究活動を結び付け、発展探究クラスでは「探究」授業を充実させます。（1、2年）</p>	<p>①説明会やガイダンスなどで、部活動への参加を奨励します。（令和3年度 生徒 4.4 保護者 4.0）4.1 以上を目標とします。</p> <p>②多彩な行事の中で、協調性を持ちながら主体的に考え、行動できる生徒を育てます。（令和3年度 生徒 4.4 保護者 4.1）コロナ禍の終息と共に向上傾向です。4.2 以上を目標とします。</p> <p>③主体的に活動し、協働し、表現できる生徒を育てます。</p>
	(4)課題を抱えている生徒への支援	<p>①生徒が抱えている問題に対して、きめ細かい相談・指導を行います。担当を中心に主任、クラブ顧問など多くの教員で情報を共有し、対応します。</p> <p>②問題解決の部署として ICP(臨床心理研究所)の存在の明確化をするとともに、生徒相談係を中心に相談しやすい環境づくりに努めます。</p>	<p>①日頃、担任は日直面談等きめ細かい相談・支援を行なっています。（令和3年度 4.0）目標は 4.2 とします。</p> <p>②個人面談等の満足度は低い。（令和3年度 生徒 4.0 保護者 3.9）4.2 以上を目標とします。</p>

## 【社会貢献】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
1. 保護者・同窓会・後援会との連携と社会貢献	(1)保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動に協力する。	①保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの活動を支援します。  ②生徒会活動を通して復興支援やボランティア活動等で地域に協力します。	①保護者から見るPTA活動はコロナ禍もあり(令和3年度 保護者 3.6)で目標値 4.0 に近づけるよう活動を支援します。  ②生徒から見る生徒会活動は(令和3年度 生徒 3.9) 目標値を 4.0 とします。

## 【生徒募集】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
1. 生徒募集対策	(1)外部入試説明会は、新しい内容を取り入れさらに充実を図り、より多くの受験者の確保に努めます。	①生徒による学校紹介、クラブ紹介やプレテストを実施します。  また、発展探究・発展文理クラスの活動を紹介し、より一層の理解と共感を得るように工夫します。	⑥各説明会の参加者数の前年度比増加を目指します。
	(2)小中連絡会などを通じて内部小学校との連携充実に努めます。また内部進学者数の増加に努めます。	①中学校紹介・進路相談コーナーなどを設置し、公開授業体験授業などへの児童の参加を勧めます。  本校探究活動のあり方を理解してもらうよう努力します。	①内部小学校との連携を深め、内部進学者 70%以上を目標とします。
	(3)中高連絡会などを通じて内部高等学校との連携充実に努めます。	①各教員が内部高等学校の教育内容を十分に理解するように努力します。	①内部高校の積極的な紹介などで3年生への理解を深め、学内進学者40名以上を目標とします。
	(4)高校進学実績を強化します。	①生徒が自主的・主体的に選択できる、他私立学校になり進路指導、行事、部活動や探究学習の内容を内外の説明会等で発信します。	①特待生による優秀な生徒を獲得し、相乗効果により全体の進路指導強化を目指します。
	(5)3年コース(英数・英数発展)の進学実績の外部評価を維持します。	①今後も継続して進学指導の強化に努めます。	①安定した募集を目指します。進学実績を高め募集力をつけます。
	(6)ホームページの充実	①受験生、保護者等に四條畷学園の魅力をわかりやすく伝えます。	①本学の教育の特長を説明する等ホームページ刷新し、充実させます。また、常にSNS等による最新の情報発信を実施します。

【学校全体】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
1. (1) 選び抜いた内容の実践と改良	(1) 「指導要領プラス」をスローガンとしたカリキュラム・教材/教具を模索、実践しその効果を検証します。	<p>① 講師(指導助言者)を招聘して複数回の校内研究授業を計画実践し、今後の研究の深化に役立てます。</p> <p>② 次回開催の公開授業研究会を視野に入れ、校内研究授業を計画実践し、今後の研究深化に役立ちます。</p> <p>③ 指導力向上をめざし、指導要領にプラスした独自性のある学習プログラム開発、授業力錬磨をめあてとした教員研修の参加を奨励します。</p> <p>④ オンライン授業やICT活用の指導法開発のため、研究部会を設置します。</p>	指導力向上に関する教員自己評価を4.5以上にします。(令和3年度4.5)
	(2) 1～6年生の英語カリキュラムと教材を開発、研究します。	<p>① 英語専科と3名のネイティブ教員によるスパイラルな英語教育を実践します。</p> <p>② 再編した1～6年生のカリキュラムと教材を、より充実させるために改善を加えます。</p> <p>③ 5・6年生の英語が教科になることに伴い、新たな教材や教授法を研究、開発します。各児童に英語学習機材をもたせ(シャープ英語辞書に入っているアプリ・ブレーン)、個別学習を実施します。</p> <p>④ 1～6年生まで通したモジュール学習の教材の指導法を検討します。</p> <p>⑤ 英語の教科化に対応した絶対評価(Can-Do Listに適用した)を導入します。</p> <p>⑥ 私立小学校連合会英語部会主催の「小学生レシテーションコンテスト」に参加します。</p>	
	(3) ICT教育の拡充にむけ、プログラミング教育とGIGA構想に基づいた教材を開発、研究します。	<p>① 各教科研で、タブレットによる学習の方法や教材を研究、実践します。</p> <p>② タブレットを用いたグループワークやペアワークの方法を研究します。</p> <p>③ アプリを使った、リモート学習の充実を図ります。</p> <p>④ 始業式や終業式、職員会議など、機会を見つけてもズーム等を使い、職員がアプリを自由に使えるよう習熟を図ります。</p>	
	(4) 科学の学習内容を見直します。	<p>① プレゼンテーションを中心とした説明と、討論を要約するための黒板使用を組み合わせた、授業運営を</p>	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
		<p>研究します。</p> <p>②科学史の追体験に基づく科学教育の開発、実践します。(3年生以上)</p>	
	(5)社会科のカリキュラムを改善します。	<p>①独自のカリキュラム、「価値判断授業」を全学年に導入します。</p> <p>②社会科の体験型・独自プラン実施します。(3年生以上)</p> <p>③生活科の体験型・独自プラン実施します。(1.2年生)</p>	
1.(2)学校行事の見直しと改良	(1)全校行事を改良します。	<p>保護者や児童の意見をもとに、体育会、秋まつり、音楽会などに改良を加えます。保護者と連携して子どもを育てます。(体育会・秋まつり・音楽会)また、新型コロナウイルス拡大防止措置のため、保護者と連携します。</p> <p>ヤングアメリカンズにかわる行事を検討します。</p> <p>「YOUNG AMERICANS」に代わり、「HEART GLOBAL」という新団体とじぶん未来クラブが協働し、検討します。</p>	保護者、児童アンケートのうち、「行事は楽しく充実している」の評価を向上します。
	(2)宿泊行事を見直します。	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭に置き、すべての宿泊行事を精査します。</p> <p>①修学旅行の充実を図るために、旅行先を含めた検討を行います。</p> <p>②カントリーステイと臨海学校を検討し、これらの行事を通じて集団活動を意識させ、内容を充実させます。また、水泳授業の検討を行います。</p> <p>③あたらしい行事「5年生ハーベストデイ」を実施します。</p>	
2.(1)基本的な生活習慣の育成	(1)児童の自主性・主体性がより発揮できるよう、児童委員会・係活動・縦割り活動、行事の内容を再検討します。	<p>①縦割り活動や児童会を通じて、児童自身が校内のマナー向上策を考えられるように活動形態を整備し、活性化を図ります。</p> <p>②児童会活動のシステムを、さらによきものになるように検討を加えます。特に児童会主催のボランティア活動を奨励します。</p>	<p>①主体性に関する教員自己評価を 4.4 以上にします。(令和3年度 4.4)</p> <p>②保護者、児童アンケートのうち、「児童会活動や係活動ががんばっている」の評価を向上します。</p>
	(2)規律遵守の意識レベルの向上を図ります。	<p>①言葉づかいと姿勢について、教員が範を示し児童が見倣うことのできる機会を積極的に増やします。年度末にマナーに関する自己評価の時間を設定し、フィードバックをうながします。</p> <p>②「自律の手助け」を念頭に置き、各家庭及び学級</p>	<p>・マナー・モラルに関する教員自己評価を 4.3 以上にします。(令和3年度 4.3)</p> <p>・保護者、児童アンケートのうちにつけに関する 3 項目の平均(4.0 以上)を維持します。</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
		<p>に配布する「しつけポスター」を指針として家庭と学校が協力し、指導を行います。</p> <p>③年度初めに各担任が「学校のきまり」を児童と保護者に説明し、理解と協力を求めます。</p> <p>④マナー、しつけについての学期目標を定め、児童と教員に周知しその徹底を図ります。</p> <p>⑤職員が交代で毎土曜日に四条駅に行き、登下校のマナーの指導に当たります。</p> <p>⑥校外行事の日、校内に訪問者が来る日を『マナー実践の場』と児童に意識させ、実際の場に応用する機会を作ります。</p>	
2.(2)基礎学力の徹底	(1)主体的・対話的な深い学びを実践します。	<p>①学年教科研究を研究の軸としてアクティブラーニングが機能するように教科内容を精選します。</p> <p>②高学年児童を中心として、タブレットで調べ学習ができるような指導を充実します。</p> <p>③児童相互の意見交換を軸とした学習を実践します。</p>	学力向上に関する教員自己評価を 4.5 以上にします。(令和3年度 4.5)
	(2)基礎学力の均一化を図ります。	<p>①・「自らの考えを表現する力」を子供につけます。</p> <p>・「読む」「書く」の繰り返し練習により「話の要旨を的確に把握して、その内容を理解できる」ための基礎となる知識を増やします。</p> <p>・評価項目・評定を検討します。</p> <p>②統一確認テスト等の学力テストで、基準とする値に達していない児童を抽出し、学級担任および学年補助教員が対象児童の学力向上に努めます。</p> <p>③学力テスト対策委員会を立ち上げ、月1回基礎学力向上にむけた話し合いを持ち、外部学習評価テストを実施します。</p>	
	(3)教員の指導力向上をはかります。	<p>①ICT を活用した学習の精選とタブレット等を活用した、個に応じた指導法の開発に努めます。</p> <p>②学年主任を中核とした OJT を推進し、若手教員の授業力や児童理解力、学級経営力の育成の日常化を図ります。</p> <p>③学年内でお互いに授業を公開し合い、授業力向上と学年内での指導方法の統一を図ります。</p> <p>④研究授業を増やし、相互の実践を対比することで指導力の向上を図ります。</p> <p>⑤重点目標に合致する研修、研究会に参加し、指導</p>	計画的な教員研修に関する教員自己評価を 4.3 以上にします。(令和3年度 4.3)

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
		力向上を図ります。 ⑥外部講師を招聘し、研究授業で指導助言をあおぎ、教員の資質向上を図ります。	

### 【人権・道徳】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
3. 主体的な生き方の尊重	一人ひとりの興味関心を大切に、だれにも自信を持たせる教育を行います。道徳教育、人権教育を軸に、互いの個性を尊重しあえる土壌をつくります。	①道徳教育の充実を図ります。週1回の道徳をアクティブラーニングの場と位置づけ「考える道徳」「学びあう道徳」を軸とした実践を行います。 ②人権尊重を目標にした授業のほか、体験型の講習会や社会見学、人権を意識した校外行事を実施し、人権意識の向上をはかります。 ③いじめ等を防ぐために、各学年アンケートを行い、人権意識を育てます。(学年はじめと宿泊行事の前に実施) ④日記や作文などをもとに、子ども同士の人間関係を推し量り、よりよい学校生活を送ることができ環境を整えます。 ⑤「学習の記録」及び「指導要録」に記載する個人内評価を検討し、実施します。	人権意識向上に関する教員自己評価を4.3以上にします。(令和3年度4.3)

### 【施設・設備】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
4. 教育環境の充実	学校の美化に全校で取り組みます。	①児童の自教室の美化意識を向上させることを、校内全体の美化意識向上につなげます。 ②児童に持ち物を自主的に整理整頓させ、担任は定期的に指導を行います。 ③児童会・美化委員会が企画立案する駅前清掃、校内清掃を実施し、縦割り編成による児童の美化意識向上につなげます。 ④老朽化した設備を修理、改修し、校内の安全性と美化を向上します。(体育館・教室・特別教室・廊下) ⑤小学校特別教室、プール、遊具などの建て替えに伴うあらたなルール設定を検討し、計画します。 ⑥遊具を再検討し、配置を計画します。 ⑦学校美化のポスターを作成します。 ⑧新型コロナウイルス拡大防止措置を実施します。	・美化に関する教職員の自己評価を4.2以上にします。(令和3年度4.2) ・保護者、児童アンケートのうち、「校内の施設、設備は充実している」の評価を向上します。

【環境】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
5. 安心、安全 な学校づくり	(1) 児童の生命を守るために、対策をたて取り組めます。	<p>[一般防災に関する対策]</p> <p>①防災マニュアルに沿った避難訓練、マニュアルの検討を行います。</p> <p>②マニュアルが機能するよう、避難通路や防災用具の定期的な点検します。</p> <p>③大阪880万人訓練に参加し、防災意識の向上を図ります。</p> <p>④緊急集団下校マニュアルの改善、円滑な保護者への引き渡しを目的とした訓練の実施と緊急時の一斉配信システムを整備します。(ミマモルメ使用)</p> <p>⑤宿泊を伴う校外行事では、最初に避難経路を児童に知らせ、必要に応じて避難訓練を行います。</p> <p>(臨海学校・自然学校)自衛消防業務のテキストに沿った図上訓練を実施します。</p> <p>[不審者等の危機管理]</p> <p>①不審者対策危機管理マニュアルにそって危機レベルごとの迅速な対応ができるよう、職員の訓練を行います。</p> <p>②不審者対策として、校内に防犯カメラを設置し、児童の安全確保をよりいっそう強化します。</p> <p>③不審者対策危機管理マニュアルを作成し、児童に危害が及ぶ危険性を段階的に設定します。</p> <p>④地域集会で各地域の危険な箇所を選び、詳細な指導を行います。</p>	「防災や安全に関する指導」の教員自己評価を4.2以上にします。(令和3年度4.2)
	(2) 児童の安全に対する意識を向上させるため、特別活動や道徳の時間を使って教育を行います。	<p>①「自分のいのちは自分で守る」意識を徹底させ、教職員とともに臨機応変に避難できる子どもを育てます。</p> <p>②外部組織と連携し、安全意識向上のための教育を行います(四條畷警察による安全教室、NTTによる安全モラル教室 大阪府少年サポートセンターによる非行防止教室 大阪府警による非行防止教室等)。</p> <p>③高所からの転落や、頭部の打撲時など緊急を要する校内事故に遭遇した場合のマニュアルを再検討し、周知します。</p> <p>④新型コロナウイルス拡大防止対策を強化します。</p>	
	(3) 防災対策を強化します。	<p>①火災、地震等の防災係を組織します。</p> <p>②防災マニュアルを作成し、マニュアルに沿った避難訓練を実施します。</p>	

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
		③地域集会で、各地域に即した防災指導を行います。	

【児童募集】

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組	評価指標
6. 内部連携を強化し募集活動を充実	幼稚園・中学校との連携を強化し募集活動を充実します。	<p>[幼稚園との連携]</p> <p>①連絡会・協議会などを通じ教師間の相互理解と交流を深めます。</p> <p>②保護者対象の公開授業や説明会を実施します。</p> <p>③幼稚園の連携を強化し、内部進学数の増加に努めます。</p> <p>④児童による園児との交流の場を設け、小学校の取り組みが園児に伝わる機会を増やします(本読み、もの作り、音楽交流)。</p> <p>⑤在園児が兄弟関係である保護者への内部進学の見学指導を強化します。</p> <p>⑥幼稚園教員へ小学校の魅力を伝え、幼稚園保護者に伝達してもらう手立てを検討します。</p> <p>[中学校との連携]</p> <p>①連絡会・協議会などを通じ教師間の相互理解と交流を深めます。</p> <p>②中学校の連携を強化し、内部進学数の増加に努めます。</p> <p>③内部進学の見学指導を強化します。</p> <p>④クラブ体験や授業体験を設け、中学の活動が小学生に分かる機会を増やします。(運動クラブ体験、文化クラブ体験、理科授業体験、中学出前授業)</p> <p>[募集活動を検討します。]</p> <p>①児童募集活動の課題を抽出し、その対策を検討します。</p> <p>②入学を検討している保護者に対する、校内外入試説明会・塾説明会・体験授業の方法を検討します。</p> <p>③広報媒介を検討します。</p> <p>④私学展等の公開説明会での説明方法を改善します。</p> <p>⑤外部幼稚園への広報活動を拡充し、希望する園で説明会を実施します。</p> <p>⑥学校見学会を実施します。</p>	<p>[幼稚園との連携]</p> <p>令和3年度は、幼稚園からの内部進学者は45名でした。</p> <p>令和4年度は、内部進学者 45 名以上を目標とします。</p> <p>[中学校との連携]</p> <p>令和3年度は、中学内部進学者63名(63%)でした。(100名中)</p> <p>令和4年度は、内部進学者 70%以上を目標とします。</p> <p>[募集活動を検討します。]</p> <p>令和3年度は入学者88名でした。</p> <p>令和4年度は集定員充足 90 名以上に努めます。</p>

## 幼稚園

No	施策種類	事業計画
1	取組み方針	(1)2021年度実施の保護者アンケート結果で保護者の方から提示された意見のうち、課題と認識した事項について改善を図ります。
		(2)教職員を園務管理、学年、預かり保育、特別支援、事務の5つの体制に分け、担当範囲と責任を明確に規定します。各担当には中堅教職員を責任者として配置し、課題解決を推進します。
2	園児募集	(1)令和5年度の3歳児の定員充足のため、令和4年度入園について2歳児教室・満3歳児の通年募集を行います。
		(2)入園説明会を9月について2回から8回に増やします。また、土日も実施します。
		(3)見学会・相談会について4月～7月に8回実施します。
		(4)園庭開放については、学園の特色であるリミックを取り入れた楽しめるイベントとして実施します。
		(5)WEBによる個別相談を随時実施します。
3	食育・給食管理の強化	(1)栄養職員[栄養士]を配置し、食育・アレルギー対策を強化します。
		(2)給食便りの作成等、保護者の方への発信を強化します。
		(3)[全園児]給食の写真、献立をコドモンの連絡帳にて保護者の方に提供します。
4	正課のレベルアップ [ヨコミネ式教育法の強化]	(1)夏期保育を再開します。[送迎も実施します。]
		(2)年長の辞書引き、レスリングを正課で再開します。
		(3)年少の「書き」を正課で再開します。
		(4)ヨコミネ式教育法の教員への指導を幼児活動研究会に委託し、毎月実施します。これにより、ヨコミネ式教育法の理念の習得、スキルの向上に努めます。
5	預かり保育の改革	(1)中堅の保育教諭を配置し、預かり保育の保育水準を向上します。
		(2)1号認定について、利用出来ない日の設定を全廃します。預ける理由は不問とし、どの日程でも予約を受け付けます。
		(3)預かり保育の申込等について不便な部分の事務フローを見直し、利便性の向上を検討します。
6	特別支援の改革	(1)中堅の保育教諭を配置し、特別支援について取組みを強化します。
7	事務体制の強化	(1)教頭職、園長代理職について法人本部の職員を配置し、事務体制を強化し、事務の確実な実施と効率化を図ります。
8	教職員の能力向上	(1)教職員の保育能力向上とキャリアアップのため「幼稚園教諭一種免許状」、「幼稚園教諭専修免許状」の取得を推進します。
		(2)特別な支援の必要な園児の増加に適切に対応するため、「特別支援学校教諭免許状」の取得を推進します。
		(3)保育の専門的知識・技術の向上を図るため保育士等キャリアアップ研修の受講を推進します。 [研修]①専門分野研修(6分野)、②マネジメント研修、③保育実践研修

No	施策種類	事業計画
		(3)保育補助者は自治体等公認の「子育て支援員研修」を受講し、「子育て支援員」の資格を取得します。
		(4)教職員として必要な人間性、品格を備えるように人格の陶冶に努めます。
		(5)気持ちの良い挨拶、礼儀正しい対応に努めます。
		(6)幼児の人権、虐待、事故防止についての知識の習得、意識の向上に努めます。
9	保護者の方とのコミュニケーションの改善	(1)Brain の機能を補完するため、2歳児教室を含む全園児対象にゴドモンを導入します。[使用機能は学園保育園に比べて限定します。] (2)[全園児]日常の保育の様子を伝えるため、保育風景の写真を撮影してゴドモンに掲載し、保護者の方に公開します。 (3)[2歳児・満3歳児] ゴドモンの連絡帳を保護者からは家庭での状況の連絡、幼稚園から保育の状況を知らせます。 [3～5歳児] ゴドモンの連絡帳等を利用して毎月1回目処に、クラスの様子等を保護者の方に知らせます。 (4)[全園児]ゴドモンにて行事予定等を保護者の方に知らせます。
10	保護者参加行事・参観等	(1)新型コロナウイルス対策に十分留意した上で、可能な限り実施します。 (2)開催が難しい場合や、参加者を制限する場合はネットでのライブ・録画映像を配信します。 (3)式典等の開催を可能な範囲で土曜日に実施します。
11	DX 化の推進	(1)教職員間の情報共有・連絡、保育水準の向上を図るため、ビジネスチャットを活用します。 (2)園務の効率化のためデジタル化を推進します。 (3)保護者の方への配布物は原則デジタル化します。(ペーパーレス)
12	職員室の見直し	(1)クリアデスク、ペーパーレスを推進します。 (2)可能な箇所よりフリーアドレス方式のフロアに切替えます。
13	保健室の見直し	(1)保健室に看護師を配置し、体調不良児型病児保育事業を開始します。
14	接続	(1)学園保育園との連携を一層強化します。 (2)小学校との段差のない接続のため、必要な保育体制を整備します。
15	地域貢献	(1)地域の子育てに貢献するため保育士による「つどいの広場」「相談支援」、看護師による地域の子育て家庭や妊産婦等に対する「相談支援」を実施します。
16	その他	(1)上記に記載以外の保護者アンケート結果について必要なもの、可能なものは順次対応します。 (2)保護者の方から園長宛にネットアプリにいつでも意見・要望を受け付けます。 受け付けた事項は検討し速やかに必要な対策を講じます。 (3)園舎内の清掃、整理整頓、美化に努めます。



## 保育園

No	施策種類	事業計画
1	重点取組課題	<p>(1)事故防止対策の強化</p> <p>①安全教育の強化・実施 事故の発生削減と重大な事故を未然に防ぐために教職員の安全教育を徹底します。 ・外部研修への参加、マニュアルの熟読等</p> <p>②ヒヤリハット報告と情報共有 些細な事象等もヒヤリハット報告書を作成し、教職員で情報を共有します。また、定期的に過去の事例を確認し、同じようなヒヤリハットを繰り返さないようにします。</p> <p>③安全点検の実施 施設の安全点検を適宜実施します。</p> <p>④食中毒防止の徹底 ・担当調理師だけでなく、教職員も衛生管理知識の習得に努めます。</p> <p>(2)感染症対策の強化</p> <p>①新型コロナウイルス感染症について ・流行している感染症の知識習得・情報収集に努めます。 ・施設、備品等の消毒を徹底します。 ・保育室の換気、室温、湿度等に十分留意します。 ・教職員の健康管理を徹底します。</p> <p>②その他の感染症について ・感染症マニュアルを整備します。 ・感染症の知識習得に努めます。</p> <p>(3)学園幼稚園との連携強化 保育園園長が幼稚園園長と兼務であることから、施設の共同利用、行事への参加等より連携を強化し、保育レベルの向上、内部進学を強化を図ります。</p>
2	保育の質の確保・向上	<p>(1)教職員の資質・専門性の向上 園外研修、園内研修について計画的な受講を通して、教職員等の資質・専門性の向上に努めます。園内研修では外部講師を招いて、学園幼稚園と同様にヨコミネ式教育法の習得・向上を図ります。</p> <p>(2)設定保育の強化・充実 かけっこ・体操、造形表現、リズム、学習[文字・数字・国旗・地理など]、絵本の読み聞かせをより一層強化・充実させます。 また、専門家による設定保育を、教職員が共に行うことにより、教職員の保育スキルの向上に努めます。</p> <p>(3)保育体制の充実 休憩対応保育士の配置、配置基準以上に教職員を配置する等保育体制を充実し、向上を図ります。</p>

No	施策種類	事業計画
		(4)特別支援教育の充実 特別支援教育の水準向上ため特別支援学校教諭免許の取得を教職員に推奨し、特別支援についての専門知識の習得に務めます。
3	働き方改革への取り組み	(1)DX の推進 コドモン、ビジネスチャット等の活用によりデジタルシフトを推進し、教職員の事務負担を軽減するとともに保護者の方の利便性にも配慮します。  (2)ペーパーレスの推進 必要なもの以外は紙での配付等を廃止し、事務負担を軽減するとともに保護者の方の利便性にも配慮します。
4	保護者満足度の向上	(1)WEB参観の実施 保育の様子をライブ配信し別室のモニターで見学できる「WEB参観」を定期的開催します。教職員が同席し、保護者の方の反響、意見等を聴く機会としても活用します。  (2)保育映像の提供 保育風景を録画し、YOU TUBEの限定公開機能により自宅等で見る事ができる機会を継続的に提供します。 [注]公開期間は短期間に限定。URLを秘匿し検索できない設定とします。)  (3)情報の共有化の推進 ビジネスチャット、コドモンを通して、保護者の方と園で必要な情報をタイムリーに共有します。
5	社会貢献・文化活動の推進	(1)地域枠の設定 地域枠の設定により、地域の待機児童、保留児童の解消に貢献します。
6	園児募集	(1)内部関係者への告知の強化 学園の教職員、保護者の方等への継続的な広報等により保護者会・同窓会・後援会等の学園関係者への認知度を向上に務め、安定的な園児確保につなげます。  (2)WEBサイト、SNSによる広報の充実 WEBサイトの充実、Facebook 等のSNSのフォロワー数の増加により、園の認知度を向上させ、園児募集につなげます。  (3)歳児別人数の適正化 園児の歳児別定員にそった園児募集を心がけ、歳児別人数にばらつきがないようにします。  (4)キャンセル待ちの確保 キャンセル待ちの園児を常時確保し、園児が途中で退園してもすぐに欠員を補充できる体制をとります。  (5)自社枠の確保 令和5年度より義務化される自社枠の定員枠について、他園情報のリサーチ、園児確保の方策等を検討します。

## 主な新規事業計画

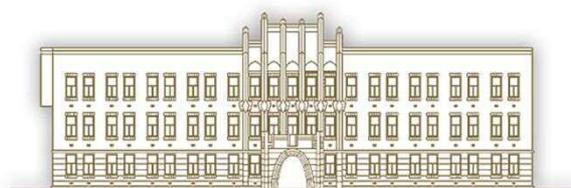
### 【法人本部】

No	事業名称	事業概要
1	[中学校] 校舎空調更新工事	校舎 2 階(西エリア)空調設備の更新
2	[中学校] 美術室外壁改修工事	南西 2 面の外壁全面改修の実施
3	[高等学校] 飯盛嶺校舎トイレ改修工事	2 階～4 階 男女トイレ乾式化工事の実施
4	[高等学校] 温水プール	ボイラーの更新および 1 階サニタリー空間のリニューアル
5	[高等学校] 本館	外壁タイルの打診調査実施(10 年毎)
6	[短期大学] 清風学舎空調更新工事	清風学舎 1 階(西エリア)空調設備の更新
7	[各校園の校舎] 消防設備	消防設備器具の点検と更新
8	規程監理システム更改	規程監理システムのバージョンアップ

### 【各校園】

No	事業名称	事業概要
1	[大学リハビリテーション学部] 電話交換機更改	電話交換機入れ替え
2	[大学・短期大学] 教務システム更改	大学、短期大学で利用している教務システムのバージョンアップ
3	[大学看護学部] 装着式上腕筋肉注射シミュレーター購入	
4	[短期大学ライフデザイン総合学科] PC 教室 PC 更改	北条学舎の PC 教室の PC 全台更改
5	[短期大学保育学科] ピアノ更改	音楽研究室のピアノ更改
6	[短期大学] 映像デジタル化	講義室の機器接続環境のデジタル対応化
7	[高等学校] 各科備品購入	書道、家庭科の備品購入
8	[高等学校] 無線 AP 増設	東館等未整備箇所への無線 AP 導入
9	[高等学校] 教室用大型モニター導入	特別教室、講習室へ大型モニターを導入(新コースのキャリアデザイン授業対応)
10	[高等学校] 教職員研修	神戸セミナーの学校支援プログラムの実施
11	[高等学校・中学校] 校務システム更改	2つの校務システムとミマモルメを新規の教務システムに1本化
12	[中学校] 無線 AP 増設	体育館への無線 AP 導入
13	[中学校] 楽器関係備品購入	吹奏楽部等で使用する楽器備品の購入
14	[中学校] PC 教室 PC 更改	PC 教室の PC の更改
15	[小学校] ロッカー購入	
16	[幼稚園] 園務管理システム導入	連絡帳、写真販売等のクラウドサービスの利用開始
17	[保育園] 絵本・おもちゃ等の購入	





創立以来変わらない感謝の気持ちを未来へ